

(書式 1 - 4 - 2 0)

受遺者である未成年者の親権者に管理を行わせない場合の遺言書

遺 言 書

遺言者〇〇〇〇は、次のとおり遺言する。

第 1 条 遺言者は、その所有する次の不動産を、甥〇〇〇〇（平成〇〇年〇〇月  
〇〇日生、住所〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号）に遺贈する。

所 在 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目

地 番 〇〇番地

地 目 宅地

地 積 〇〇〇・〇〇平方メートル

第 2 条 遺言者は、甥の親権者たる父〇〇〇〇又は母〇〇〇〇に前条の不動産の  
管理をさせないものとし、管理者として〇〇〇〇（住所〇〇県〇〇市〇〇  
町〇〇丁目〇〇番〇〇号）を指定する。

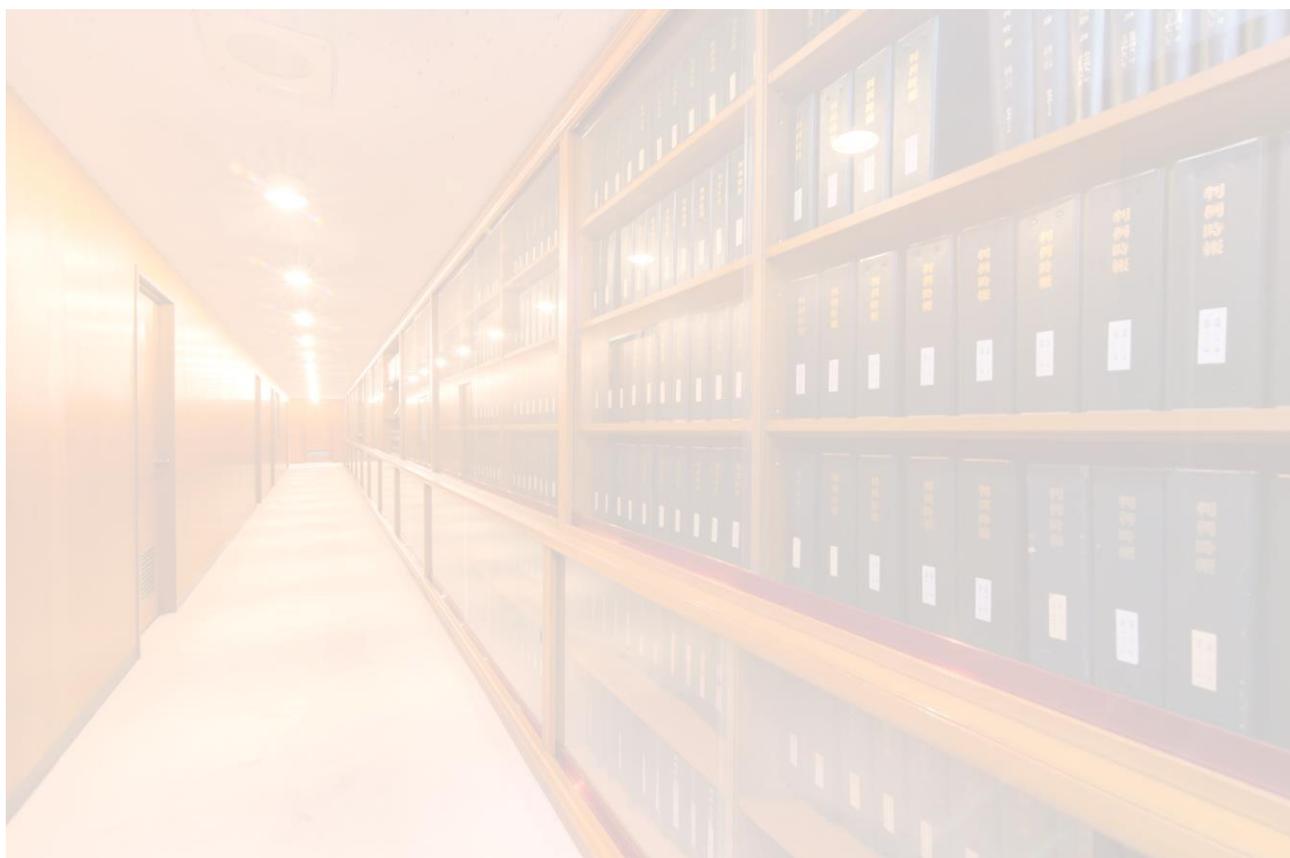
平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号

遺言者 〇 〇 〇 〇 印

## 解説

受遺者が未成年者で、その親権者に遺贈財産の管理を任せることに不安があるような場合に、別の管理者を指定することができる（民法第830条）。



\* 遺言書の詳細は、<https://ac-souzoku.jp/inheritance/will/> をご覧下さい。

弁護士法人朝日中央綜合法律事務所